

令和元年 **8** 月の大阪森林便り



今月の木の話



シタン・コクタン・タガヤサン


家具に珍重されている堅く重たい木

- *いずれも唐木^{からぎ}で、東南アジア産の目方の重い銘木類。
- *唐木といわれる所以は、昔中国から渡来したということから。
- *シタンは紫檀。マメ科でローズウッドとも。
 - ・産地はタイ、ミャンマー、インド。比重は 1.01～1.2。
- *コクタンは黒檀。カキノキ科。
 - ・産地はインド東部、ミャンマー、タイ。比重は 1.18。
- *タガヤサンは鉄刀木の和名。
 - ・鉄刀木の中にはテツザイノキ（鉄材木）ともいわれる材も。
 - ・テツザイノキの比重は 1.0～1.2。
 - ・比重 1.0 は水に浮くか沈むかの瀬戸際。
- *唐木の用途は家具に作られるものが多く、座卓、茶棚、仏壇仏具、花台、短冊掛けなど。
- *ビャクダン（白檀）は芳香が強いので、扇子とか数珠、お香用に利用。
(日本林業調査会「木材に強くなる本」より抜粋・引用)



(1) 北米産丸太が下落 7月積み 対日価格、3か月連続

- *北米産丸太の 7 月積み日本向け輸出価格交渉が 3 か月連続の値下げで決着。前月に比べ 2%安。
- *競合する欧州産の集成材が日本と欧州連合（EU）の経済連携協定（EPA）発効に伴う関税引き下げなどで値下がり。
(2019年7月18日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(2)  大林組、純木造高層ビル 2020年着工

*大林組は鉄筋構造と同様の強度を持つ、純木造の高層ビルを2020年3月に着工。

- ・横浜市の自社研修施設として建設。
- ・地上10階建ての高層ビルを純木造で実現するのは国内初。2022年3月竣工。
- ・大林組は柱と梁を一体化し、厚さが通常の6倍超の合板で梁部分を補強した資材を開発。

*国内では樹齢50年を超える人工林の面積が全体の65%。

*木材需要の約4割は建設現場。

*竹中工務店は木造と鉄筋コンクリートなどを組み合わせる技術を開発。2020年には12階建ての集合住宅が竣工。

*住友林業は2041年までに、全体の9割が木材となる高さ350mの超高層ビルを建てる構想。

(2019年7月18日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(3)  輸入合板 値下がり 2年10か月ぶり

住宅着工減響く

*輸入合板の流通価格が2年10か月ぶりに下落。

- ・国内の合板市場で輸入合板のシェアは4割強で、大半が南洋材合板。
- ・コンクリート型枠用合板厚さ12ミリは6月末に比べて1%安。
- ・構造用合板厚さ12ミリも1%安。
- ・値下がりとは2016年9月以来2年10か月ぶり。

*5月の住宅着工件数は前年同月比8.7%減の72,581戸と2か月連続で減少。

・落ち込みが目立つのが分譲マンションで、2か月連続の2桁減。

*東京地区の6月の生コン出荷量は、前年同月比18.8%減と5か月連続で2桁減。

*5月の合板輸入量は前年同月比32.3%減少。2009年2月以来10年3か月ぶりの低水準。

(2019年7月23日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

